

平成23年行政事業レビューシート (総務省)

事業名	中小・ベンチャー企業向け先進的クラウドサービス創出支援事業	担当部局庁	情報流通行政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成25年度	担当課室	情報流通振興課	課長 黒瀬 泰平			
会計区分	一般会計	施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第65号	関係する計画、通知等	新たな情報通信技術戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	クラウドサービスのPaaS、SaaSの開発に必要なIaaSは、先行する海外事業者が強力な価格競争力を基に利用者を拡大している。海外事業者の提供するIaaSは、特定の技術ソースで構成しているため、こうした潮流が続くと我が国のICT産業の「空洞化」が進み、国力が著しく損なわれる可能性がある。ICT産業の空洞化を回避し、「2015年時点で新たに約2兆円のクラウドサービス市場を創出」(原ロビジョンII)に資するため、特定の技術ソースに依存しない、中小・ベンチャー企業による新たなクラウドサービスの創出を促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記目的を達成するために、中小・ベンチャー企業に対して、独立行政法人情報通信研究機構(NICT)の有する研究成果や超高速ネットワーク(JGN-X)、政府統計等の統計データが利用可能なクラウドサービスの開発環境を提供し、次の項目について民間企業への業務委託で調査を行う。 ①JGN-X上にNICT等の研究機関が開発した技術を活用したクラウドテストベッドを構築し、中小・ベンチャーによるクラウドサービス開発の実証に供することで、その技術的課題を調査。 ②JGN-X上にNICT等の研究機関が開発した技術を活用したデータ連携基盤(API)を構築し、中小・ベンチャーによる統計情報等を活用した新たなコンテンツサービス開発の実証に供することで、その技術的課題を調査。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	199	110
		補正予算	-	-	-	0	
		繰越し等	-	-	-	0	
		計	-	-	-	199	110
	執行額	-	-	-			
執行率(%)	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	新たなクラウドサービスの創出するために必要な技術的課題の調査が目標であるため、定量的な指標は示せない。	成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	新たなクラウドサービスの創出するために必要な技術的課題の調査が目標であるため、定量的な指標は示せない。	活動実績 (当初見込み)				() ()	-
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	電気通信技術研究開発調査費	199	110				
	諸謝金	0.4	0.3				
	委員等旅費	0.2	0.1				
	計	199	110				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>中小・ベンチャー企業に対してクラウドサービスの開発支援を行うことは、我が国のICT産業の空洞化を防ぎ国際競争力を維持するため国が行うべき事業である。 支出先の選定方法については、一般競争入札で行う。事業目的を着実に達成できるよう仕様書を策定するとともに、価格点による競争を取り入れることで、効率的な事業実施に努める。 調査・実証の結果、有用性が確認された技術・システムについてはJGN-X上に展開し、新たなクラウドサービスの開発・研究に供する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>事業所管部局による点検が十分行われている。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>平成24年度概算要求では、より優先度の高い項目を対象を絞るなど、大幅な経費の効率化(前年度比約半減)を行った。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					